



申孝園のご案内

国柱会本部・妙宗大靈廟・有料老人ホーム申孝園ロータスヴィラの立つ敷地全体 ($16,500\text{m}^2$) を「申孝園」と申します。

「申孝園」とは「孝行を実践する地」という意味で、その名称の由来となったのは、『日本書紀』に記された神武天皇の「もって大孝をのべん」というお言葉です。

敷地の造園は、妙宗大靈廟の創建された昭和3(1928)年から昭和6(1931)年かけて行われました。

庭園内には45基の石碑が建立され、散策に訪れた皆様に法華経の教えを説き続けています。

数字は、石碑の大まかな位置を示しています。

申孝園の石碑 (地図上上の番号をご参照下さい)

- | | |
|--------------------------------------|--|
| 1 日蓮はわかきより今生のいのりなし
たゞ佛にならんと思ばかり也 | 27 田中智学先生示寂靈域 (書院跡) |
| 2 圧制をしのぶ柳の自主自由 | 28 ともゑ (巴) の松 |
| 3 善につけ悪につけ法華経をすつるは地獄の業なるべし | 29 紿仕第一 |
| 4 言ふことののちにあへばこそ人も信ずれ | 30 天晴地明 (天晴れぬれば地明らかなり) |
| 5 濁水心なけれども月を浮べて自ら澄めり | 31 人みなのおどろき顔に惜むかなにはかにくるゝ年ならなくに |
| 6 安世安國為忠為孝
(世を安んじ國を安んずるを忠となし孝となす) | 32 みな人をわたしはてんとせしほどにわが身はもとのままの継橋 |
| 7 そここことわたる世間に鬼はなし佛もなくて凡夫ばっかり | 33 詮する所は天もすてたまへ諸難にもあへ身命を期とせん |
| 8 極樂百年の修行は穢土一日の功におよばず | 34 立正安國 |
| 9 知恩報恩 (恩を知り恩に報ゆ) | 35 真心の根にこそ茂ればな紅葉 |
| 10 こころ甲斐なきものは多くの能無用なり | 36 身にあまる重荷なりともくにのため人のためには厭はざらなむ |
| 11 歌唄頌佛徳 (歌唄して仏徳を頌し「法華経方便品」より) | 37 清濁のさかひに茂る菖蒲哉 |
| 12 師子奮迅 | 38 臨終の事を先にならふて後に他事を習ふべし |
| 13 靈臺の孝は子來の土石より | 39 悅可衆心 (衆の心を悦可せしむ) |
| 14 あはれたゞほとけもてらせ神も見よ此一まきのこころづくしを | 40 吾人はすべからく現代を超越せざるべからず |
| 15 染めかけて寒さにまたぐ紅葉かな | 41 申孝の庭に克忠の花開く |
| 16 七つ子が六つまちかねて凧 (いかのぼり) | 42 辻までもひびく本地の天鼓かな |
| 17 田中貞一 (智学先生長子) の墓 | 43 花の香も祥雲橋の一歩より |
| 18 蛇によりりいでてつみ菜の大騒 | 44 在在諸佛土 常與師俱生 (在在諸仏の土に常に師とともに生ぜん) |
| 19 おく露をかずの黄金とちらしても風にやさしきこでまりの花 | 45 方十里碑貫のみかも稻熟れてみ祭三日そらはれわたる病のゆゑに
もくちんいのちなりみのりに棄てばうれしからまし (宮澤賢治辞世) |
| 20 吾人はすべからく現代を超越すべし | |
| 21 日蓮によりて日本國の有無はあるべし | |
| 22 吾身は全体父母の身なり | |
| 23 恩如天覆誼如地惠 (恩は天の覆うが如く誼は地の恵むが如く) | |
| 24 手もたゆくならす扇にまねかれてまことの風もふくゆふべかな | |
| 25 妙光 | |
| 26 田も里も海迄法の種を蒔き | |



8



24



42